

美咲町新規就農者 ガイドブック

3訂版



美咲町産業観光課

はじめに

この冊子を開く皆様は、夢と希望と熱意をもって「農業を始めたい」と思われていることでしょう。しかし、同時に「農業を始めるにはどのような手順を取るのか」、「どこに相談したら良いのか」、「農業で生活できるだろうか」など、多くの疑問や不安を感じていることと思います。

新しく農業を始める上で、「農地の確保」「技術の習得」「資金の確保」の3つが大きな課題です。農業を始めるためには事前に「綿密な」情報収集を行い、これらの課題を解決することが必要です。そして何より、自身が経営者となり農業経営を行っていくのだという強い自覚を持ち、何事に対しても強い意欲を持って努力することが大切です。

この冊子は、意欲あふれる皆様のために、美咲町で農業を始めるにあたって知っていただきたいことやその際に大切なポイントをまとめたものです。

農業を始めるまでの道程は長いかもしれませんが、このガイドブックが皆様の道標となれば幸いです。

目 次

◎新規就農へのプロセス・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
◎ステップ1 情報を収集しよう・・・・・・・・・・	P. 3
◎ステップ2 営農・生活プランを考えよう・・・・・・・・	P. 4
◎ステップ3 栽培する作目を考えよう・・・・・・・・	P. 6
◎ステップ4 就農候補地を調べよう・・・・・・・・	P. 7
◎ステップ5 資金の準備・計画をしよう・・・・・・・・	P. 9
◎ステップ6 技術や知識を習得しよう・・・・・・・・	P. 11
◎ステップ7 農地・住宅を確保しよう・・・・・・・・	P. 13

※本冊子の情報は令和7年7月〇日時点のものです。各種支援制度等の内容が変更されることもありますのでご注意ください。

新規就農へのプロセス

ステップ1 情報収集をしよう : (聞いてみよう)

→新規就農に向けた窓口での相談、情報収集の方法について



ステップ2 営農・生活プランを考えよう : (考えてみよう①)

→なぜ農業をやりたいのか、どのような農業経営をするのか十分検討しましょう



ステップ3 栽培する作目を考えよう : (考えてみよう②)

→美咲町農業の概要、主な作目の経営収支、必要な労働時間等について



ステップ4 就農候補地を調べよう : (住んでみたい場所はどこ?)

→現地訪問の方法、視点について



ステップ5 資金の準備・計画をしよう : (資金は十分かな?)

→農業を始めるのに必要な資金、主な施設・機械の取得価格について



ステップ6 技術や知識を習得しよう : (勉強できるところがあるのかな?)

→新規就農研修制度の概要、その他技術研修制度について



ステップ7 農地・住宅を確保しよう : (住みたいところは見つかったかな?)

→農地の権利取得の際の注意点、移住支援情報の収集について



新規就農 夢の実現に向けた第一歩

ステップ1 情報を収集しよう

近年、農業経験のない方が農村へ移り住み、新たに農業を始める人が増えています。

移住し就農するには、「農地の確保」「技術の習得」「資金の確保」の3つが大きな課題とされています。これらの課題をクリアし新規就農するためには、多くの情報を収集し、自分の理想を実現できる方法を選択することが必要です。

どこでなにを
作ろうか？

農地は
どうやって
借りよう？

作り方は
どうやって
学ぼうか？

資金は
いくら
必要かな？

ポイント1 新規就農相談窓口に相談しよう

美咲町では、岡山県やJA、役場が連携し、皆さまの就農に関する疑問や不安等について相談することができます。就農を希望される方に対し、新規就農研修制度の紹介や各種情報について総合的な相談に対応しますので、ご連絡ください。

※面談による相談を希望する場合は、あらかじめ電話等で予約してからお越しください。

～ 相談窓口 ～

◎美咲町役場産業観光課（美咲町全域・中央地域）

☎0868-66-1118 ※美咲町役場2階

◎美咲町旭総合支所地域振興課（美咲町旭地域）

☎0867-27-3111 ※美咲町旭総合支所内

◎美咲町柵原総合支所地域振興課（美咲町柵原地域）

☎0868-62-1114 ※美咲町柵原総合支所内

◎岡山県農業経営・就農支援センター（岡山県内全域）

岡山県立青少年農林文化センター 三徳園：岡山市東区竹原505

☎086-297-9010

◎美作広域農業普及指導センター（美作県民局管内）

担い手・農産班：津山市山下53

☎0868-23-1524 ※岡山県美作県民局別館2階

ステップ2 営農・生活プランを考えよう

ポイント1 長期的な営農・生活プランを考えよう

就農を目指す目的は、就農することではなく、農業で生活していくことです。

そのため、就農してから10年間の営農・生活プランを考えておく必要があります。

また、具体的な営農・生活プランの検討にあたって、農地の条件を考える必要があります。したがって、最終的な営農・生活プランは「就農候補地の選定」と同時に、次のような内容を考えていくことが必要です。

- ① 何を何人でどのくらいの面積で作るのか (栽培規模)
- ② 生産物の売上げがどのくらいになるのか (売上)
- ③ その経営に必要な費用はどれくらいか (経費)
- ④ 年間の生活費はどのくらいかかるか (生活費)
- ⑤ 農業に投資できる資金はどのくらいあるのか (資金)



営農プランの作成は、美作広域農業普及指導センターへ相談しながらご自身で検討してください。

ポイント2 自己資金は最低でも年間生活費の2～3年分を用意

就農初期は経営が安定せず、収入が不安定になりがちです。また、栽培作目によっては収穫までに数年を要することがあります。このため、自己資金として当面の生活費と初期投資の資金を準備しておく必要があります。

ポイント3 経営規模と収益性について

栽培する作目を考える上で、得られる所得と必要な労働時間をよく考えることが重要です。所得や労働時間の目安として、各作目の粗収入、経営費、所得、年間労働時間等をP. 6に掲載していますので、営農プランを立てるときの参考にしてください。

なお、掲載している内容はベテラン農家が条件の良い圃場で農業経営したという仮定で、就農当初は労働条件は2～3割増、農業所得は3～5割減になると見込んでいた方がよいでしょう。



ポイント4 営農開始にかかる費用について

農業を始めるには、栽培する作目や規模に見合った施設や機械等が必要です。自己資金や無利子や低利の融資制度を最低限活用することも一つの方法です。また、程度の良い中古の施設や機械を活用することで、初期投資を少なくすることもできますが、その際は必ず施設や機械の状態を確認するなど慎重に検討しましょう。

ポイント5 労働力の確保について

農業による生産活動をしていく中で、土づくりや草刈り、播種や収穫等あらゆる作業をしなければなりません。規模が小さいうちは出来ていたことも、規模が拡大するとその分作業内容が増えてしまい、適期作業が困難になることがあります。

現在は必要な人手を確保することも容易ではなく、規模拡大や生産活動が円滑に進まなくなってしまう場合もあることから、事前にどのくらいの労働力が必要なのかを十分検討しましょう。

また、生産活動を円滑に進めていくためには、労働力の確保に加え安全な農作業を行える環境づくり・計画づくりが大切です。農作業での事故には、機械・設備による事故のほか、近年では高温による熱中症等も発生しています。

こうした事故を防ぐために、過去の事例を研究することや常に連絡手段が取れるようにしておく等の対策を十分検討しましょう。



新規就農者サポート活動（経営状況相談）



新規就農者サポート活動（圃場育成相談）

ステップ3 栽培する作目を考えよう

栽培する作目選定は、初期投資額や労働力、必要な技術の習得方法、栽培適地（産地化されているか）、等をよく検討する必要がある、これらの項目に対して、自身（自己資金、労働力、体力や健康面）に適した作目を選ぶことが大切です。

美咲町では、生産振興作物に、ピオーネ、黄ニラ、アスパラガス、キュウリ、りんどう、しょうがなどがあり、各種団体と連携を図りながら推進に努めています。また、新たに農業を始める方を支援する新規就農研修制度（P.11～）において、研修生の受入れを行っています。

主な作目（品種・作型）における 10a（1,000 m²）当たりの「農業経営指導指標」

作目 （品種・作型）	栽培適地	収 量 （kg）	粗収入 （万円）	経営費 （万円）	農業所得 （万円）	労働時間 （時間）
水稻（稚・中苗） 規模 20ha	吉備高原、津山盆地	500	12	8	4	16.3
黒大豆（直まき）	全域	150	22	9	13	54.5
もも（清水白桃）	岡山平野～津山盆地	2,200	237	125	111	320
シャインマスカット （2月加温）	岡山平野～津山盆地	2,100	766	342	423	499
ピオーネ（簡易被覆）	全域	1,800	160	92	68	344
なし（新高）	岡山平野～津山盆地	3,300	128	106	21	420
きゅうり（露地）	岡山平野～津山盆地	10,000	329	171	157	756
なす（促成）	岡山平野～津山盆地	19,000	967	643	323	2,730
トマト （雨よけ、溶液土耕）	吉備高原、中国山地	12,000	417	308	109	869
いちご （促成、高設栽培）	岡山平野～津山盆地	5,500	552	491	214	1,374
アスパラガス（露地）	全域	1,800	222	121	101	370
ほうれんそう （雨よけ、春秋冬まき）	岡山平野～津山盆地	1,500	96	72	24	242
こまつな （ハウス、周年）	岡山平野、津山盆地	2,000	75	47	27	393
りんどう （露地、盆出し）	吉備高原～中国山地	32,000 本	176	103	72	567
スイートピー （冬切り、溶液土耕）	岡山平野	210,000 本	756	410	345	2,734

※岡山県農業経営指導指標（令和2年度）より抜粋

ステップ4 就農候補地を調べよう

就農候補地を考える上で最も大切なことは「実際に現地を訪れ、自分の目で確かめる」ということです。現地を訪れることで、生活環境や気候風土、そして先輩就農者に会うことができればより具体的な話を聞くことができるでしょう。

ポイント1 産地＝適地耕作

農業には「適地適作」という言葉があるように、その土地の気象や土壌条件にあった作目があり、産地が形成されています。したがって、産地があるということは、その作目の適地であるとも言えます。希望する地域でどのような作目が栽培され、産地が形成されているのか十分に調べることが重要です。

ポイント2 現地調査はしっかりと

就農後の生活は、就農する地域により様々です。ご自身だけでなく、家族の5年後、10年後の生活を想像しながら、病院、学校、商店などを確認してください。

ポイント3 家族の理解と合意

就農にあたり、ご家族の理解を得ることがなにより大切です。就農を志す本人は強い意志を持っていても、ご家族の就農に対する不安は本人以上に大きいものです。就農候補地がある程度絞れてきたら、必ずご家族と一緒に現地調査を行い、就農に対する理解を求めて、就農に向けてご家族で合意形成していくことが大切です。

ポイント4 地域社会に溶け込めるかどうか

農業で成功するためには、地域社会にどれだけ溶け込めるか、地域の方との繋がりできるかがカギになります。

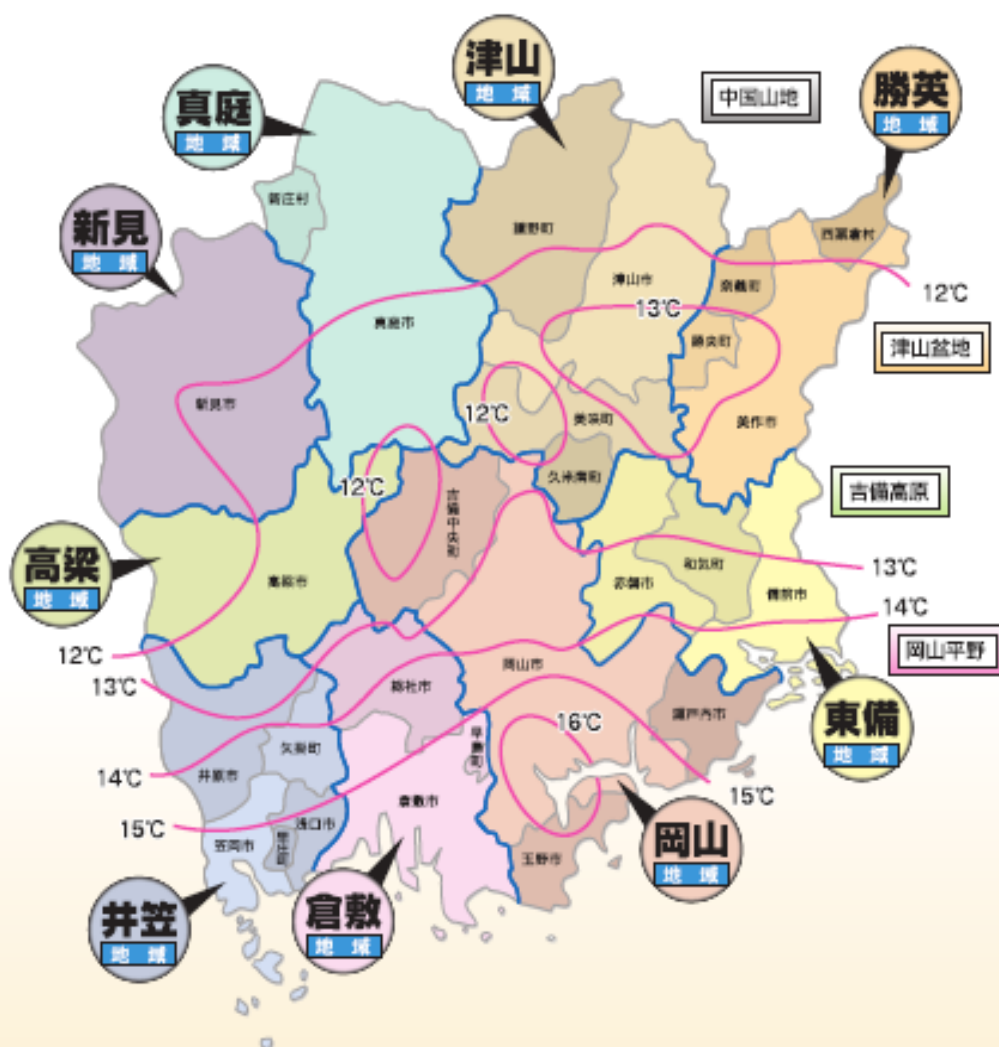
あなたが、農業経営を考えている農地の隣には、おそらく他の方の農地があるでしょう。また、農業用水が共同利用の場合も考えられます。農業は、1人でやるものではなく、その地域周辺の方と相互に理解しながら行わなければなりません。その地域の一員になることが重要です。

ポイント5 気象条件について

岡山県の気候は瀬戸内海と中国山地に抱かれ、温暖で晴れの日が多いことから「晴れの国」と呼ばれています。美咲町では、中国山地からくる内陸型気候と瀬戸内海からくる海洋型気候からなり、津山特別地域気象観測所における平均気温は 14.7℃で、年間降水量は 1510.0 mmです。（令和2年中）

降霜期間は、11月中旬から4月下旬で、比較的長くなっています。

また、東西に長い地形となっており、同じ作目であっても地域によって異なります。現地訪問の際は、一年を通した気象条件も確認するよう心がけましょう。



地域区分	立地条件
岡山平野 (瀬戸内沿岸部)	●岡山部の標高0～100mの水田地帯で都市化の進展が著しい。 ●年平均気温14～15℃、年降水量1,200～1,400mmで積雪はほとんどなく温暖である。 ●瀬戸内沿岸の丘陵地帯で、ほぼはゆるやかな傾斜面である。 ●年平均気温15℃以上、年降水量1,200mmで冬季温暖である。
吉備高原	●県中部に広がる標高250～500mの中位丘陵台地帯であり、地形は起伏に富み複雑である。 ●年平均気温12～14℃、年降水量1,300～1,600mmで冬季一部で5～20日程度積雪がある。
津山盆地	●津山市周辺及び短距離沿線の標高100～250mの平坦水田地帯と緩傾斜丘陵地帯である。 ●年平均気温13～14℃、年降水量1,500～1,700mmで冬季20～30日の積雪がある。
中国山地 (蒜山)	●標高300～800mで全体的に地形は複雑で急峻な地帯である。 ●年平均気温11～12℃、年降水量1,800～2,100mmで冬季30～60日の積雪がある。 ●標高400～500mのなだらかな高原地帯で土壌は火山灰土壌である。 ●年平均気温11℃、年降水量2,100mmで冬季80日の積雪がある。

ステップ5 資金の準備・計画をしよう

農業を始めるためには、元手となる資金が必要です。栽培規模や作目に応じて必要な施設・機械等の初期投資の費用や苗、肥料、農薬等の栽培に必要な経費だけでなく、経営が安定するまでの生活費を確保しておく必要があります。

営農計画の作成には、栽培計画だけでなく初期投資、運転資金、生活費などを含めた資金計画を立てていくことが大切です。

ポイント1 研修資金

研修等を受けて技術習得した上での就農することで経営リスクを低減できます。

新規就農研修制度のうち農業実務研修（P.11～）では、実務研修中に年額換算 150 万円程度の研修資金を支給しますが、それ以外に必要な生活費は事前に準備しておく必要があります。

ポイント2 施設・機械資金

農業は、栽培する作目や作型によって必要な施設・機械が大きく異なります。

パイプハウスやトラクター等高額な施設・機械の購入にあたっては過剰投資とならないよう、綿密な計画を立てる必要があります。また、中古の施設・機械を活用することで、初期投資を抑えることができますが、購入時には必ず長年の使用に耐える状態かどうかを確認してください。

ポイント3 運転資金

農業経営を行うには、肥料、農薬、苗等年間を通して様々な経費が必要です。作目によって収穫できる時期が限定されるものもあり、常に一定の収入があるわけではありません。

したがって、年間を通した収支計画を立て、肥料や農薬等の購入資金を準備しておく必要があります。

ポイント4 生活資金

新規就農した方の場合、経営が安定するまでに数年を要する場合があります。特に、果樹などの育成機関が必要な作物の場合は、新しい苗を植え付けてから十分な収穫量が得られるまで複数年かかります。農業収入だけでの生活を目指す場合には、施設・機械等の初期投資や運転資金の他に、最低2～3年分の生活資金を確保しておく必要があります。

ポイント5 制度融資資金の活用について

低利で長期的に借り受けられる制度資金があります。本格的に農業経営を目指す方を対象にしていますが、一般的な資金借入と同様に、金融機関の審査があり、必ず返済しなけ

ればなりません。したがって、営農計画、返済計画をよく検討することが大切です。

主な施設や機械の価格と耐用年数（目安）

施設・機械名	規模・規格	構 造	価 格 (万円)	耐用年数 (年)	使用する主な品種
作業場	90 m ²	鉄骨造	495	24	汎用
	50 m ²	鉄骨造	330	24	汎用
果樹棚	50a	コンクリート、鉄線	495	14	ピオーネ等
簡易被覆施設	50a	トンネルメッシュ	363	10	ピオーネ（簡易被覆栽培）等
パイプハウス	2,000 m ²	鉄パイプ	1,118	10	トマト（雨よけ）等の施設
かん水施設	90a	パイプ	304	8	ピオーネ等
温風暖房機	一台	75,000kcal	127	7	マスカット等
トラクター	一台	32PS	391	7	汎用
	一台	25PS	285	7	汎用
ロータリー	一台	180 cm幅	85	7	汎用
管理機	一台	6.2PS	12	7	こまつ菜、ほうれんそう等の軟弱野菜
田植機	一台	6 条	388	7	水稻
自脱型コンバイン	一台	4 条	648	7	水稻
動力散布機	一台	背負い式	11	7	水稻
動力噴霧機	一台	可搬式	43	7	汎用
運搬車	一台	7PS	83	7	汎用
バックホー	一台	バケット容量 0.05 m ³	153	7	もも・ぶどう等の果樹
軽四トラック	一台	660 cc、4WD	100	4	汎用

※岡山県農業経営指導指標（令和2年度）より抜粋



ステップ6 技術や知識を習得しよう

新規就農において、正しい技術や知識を習得した上で、栽培を始めることが早期の経営安定の近道です。

美咲町では、岡山県と連携して新たに農業に取り組みたいという意欲のある55歳未満の方を支援するため、1カ月間、農業や農村生活を体験する「農業体験研修」と研修資金を受給しながら実践的な研修を受ける2ヵ年以内の「農業実務研修」をセットにした「新規就農研修制度」を実施しています。

新規就農研修制度について

1 農業体験研修

研修を希望する地域に1ヵ月間滞在しながら、優秀な経営を行っている農家の下で農業や農村生活を体験し、農業がどのような仕事であるか、農村生活とはどういうものか知っていただきます。

2 農業実務研修

農業体験研修を修了し、本格的に就農を目指す方に対する2ヵ年以内の研修です。農業技術や経営に関するノウハウを習得、地域との信頼関係づくりなど独立に向けて実践的な研修を受けることができます。なお、実務研修期間中は、研修資金が支給されます。

※新規就農研修生の募集期間や要件（年齢制限あり）等は、就農相談会等でご確認ください。

栽培技術等を習得できる研修について

新たに農業を始める方はもちろん、両親の後を継いで農業を始める方や定年後に新たに農業を始める場合も、基礎的な技術や知識を習得した上で栽培を始めることが大切です。

岡山県では、新規就農研修制度や農業大学校での「社会人就農研修」などがあります。

研修名	研修場所	内容	日数等
社会人就農研修	農業大学校	他産業経験者に対する、就農を目的とした技術研修	45 回程度
新規就農研修	農業大学校	座学による農業全般の基礎知識の習得	15 回程度
応用技術研修	農業大学校	トラクター、フォークリフトなどの技能研修	2～7日間 (研修科目により異なる)

※研修受講には、実費負担（テキスト代）が必要なものもあります。

新規就農研修制度を活用したモデルケース

項 目	内 容 等
事前準備（情報収集）	① 就農相談会への参加 ② 営農・生活プランの検討（家族の同意、資金計画等） ③ 現地訪問 ④ 就農予定市町村、作目の選定
地域就農 オリエンテーション	研修生を募集する地域にて、圃場見学や研修受入関係機関との意見交換を行います。開催時期や内容はお問い合わせください
農業体験研修の申込み	農業体験研修を希望する方は申請書を提出 ※年2回（6月、10月頃）募集します
面接会	農業体験研修を申し込んだ（就農を希望した）地域において、面接会を開催します
農業体験研修の実施	面接会に合格した後、就農を希望した地域で、1ヵ月間の体験研修を受けます
農業体験研修修了後	① 農業実務研修に向けた意志確認 ② 研修受入地域との合意 ③ 研修計画（就農までの手順、就農後の計画プラン等）の作成 ④ 農業実務研修の申請 →研修実施主体、市町村、県の承認 ※農業体験研修修了後、直ちに農業実務研修を受けられる訳ではありません
農業実務研修の実施	実務研修開始（2ヵ年以内） ※農業体験研修を受けた地域で研修を受けます
就 農	※農業実務研修を受けた地域で就農



赤そば



しょうが



濃農クラブ

ステップ7 農地・住宅を確保しよう

新しく農業を始めるには、「農地」と「住宅」を確保しなければなりません。

農村には、農業者の高齢化等により耕作されていない農地や空き家がありますが、すぐに借りられる、売ってもらえるとは限りません。

所有者からすると、新規就農希望者の人柄や営農形態、周囲とトラブルを起こさないか等心配ごとは尽きません。したがって、農地や住宅の確保については、所有者や周囲の方との信頼関係の構築がその近道と言えるでしょう。

ポイント1 信頼関係が第一

一般的に、新しく来る人の人柄や経歴が分からないうちは、貸したい、売りたいという気持ちになかなかありません。このため、新規就農希望者が、農地や住居を取得するためには、就農する地域の方々との信頼関係を築くことが大切です。さらに、信頼関係を築くことで、取得を希望する農地の様々な情報（日当たり、水はけ等）も入手しやすくなるでしょう。

ポイント2 農地を取得するときに注意すること

農地の利用については、農地法等により規制が設けられており、賃借や売買については、農地を所有している方との合意に加え、当該農地を所管する美咲町農業委員会への届出・許可申請等の手続きが必要です。各種手続きを行っていない農地の賃借や売買は、法律上の効力がなく、トラブルの元になりますので、事前に農業委員会とよく相談してください。

他にも、その農地の日当たりや水はけ等の条件、水源の確保、最近では鳥獣被害の有無や程度など事前に十分情報収集することが大切です。

ポイント3 住宅・生活関連情報も調べよう！

岡山県への移住を希望する方向けの岡山県移住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」に、移住・定住に関する様々な情報が掲載されています。

賃借・購入可能な空き家を紹介した「空き家バンク制度」、短期間の滞在に利用できる「お試し住宅」等の情報や、移住・定住に関する各種相談会やセミナーの案内、各自治体の支援策、動画や写真による先輩移住者の体験談等を掲載しています。

美咲町に関する情報検索

「美咲町ホームページ」 <https://www.town.misaki.okayama.jp/>

岡山県の魅力や移住・定住に関する情報が盛りだくさん！！

「おかやま晴れの国ぐらし」 <https://www.okayama-iju.jp/>

○住宅情報の探し方

- ・空き家バンク

市町村が窓口となって、空き家の賃貸や売却を希望する人から受けた情報を、空き家の利用を希望する人に紹介する制度。美咲町ＨＰで検索するか担当課へお問い合わせください。

美咲町担当課：地域みらい課 ☎０８６８－６６－１１９１

- ・不動産情報サイト「住まいる岡山」 <http://www.ok-smile.jp/>

岡山県内の不動産業者の９９％が所属する業界団体が共同で運営する不動産情報サイト

「住まいる岡山」で検索。

- ・岡山県空き家情報流通システム <http://www.ok-smile.jp/akiya/>

「空き家バンク」の物件情報を提供しているシステムで、物件の調査・案内・契約などをプロが媒介、手続きを行う制度。「住まいる岡山空き家バンク」で検索。

- ・公営住宅（県営住宅・市町村営住宅）

申込み時期や入居要件がありますので、岡山県もしくは美咲町担当課へお問い合わせください。

美咲町担当課：住民生活課 ☎０８６８－６６－１１１４

岡山県土木部都市局住宅課管理班 ☎０８６－２２６－７５３６

先輩就農者から一言（ワンポイントアドバイス）



池上 栄造さん
キャベツ農家
H22 年就農

将来の目標をしっかり作り、その目標に向かって、同じ考えの仲間をしっかりつくり、協力しあっていくこと！！

色々な支援制度などがあるので、農協・役場・先輩農家等に相談し、計画をしっかり立てて就農してください。



妹尾 美典さん
ぶどう農家
H22 年就農

先輩農家や仲間と信頼関係を築くことが大切です。
また、困ったときの相談相手を作っておくことも大切です。

当初の計画よりお金がかかりますので、しっかり自己資金を用意しておくとう助かります。また水関係を良く調べてから就農した方が良いでしょう。



光井 健太さん
ぶどう農家
H28 年就農



青木 宣明さん
ぶどう農家
H28 年就農

地域 特産品 マップ



マスカット	なす	バラ	黒大豆	豚	ガザミ
ビオーネ	トマト	スイートビー	栗たけこ	鶏	たこ
白桃	黄にら	りんどう	茶	木材	ままかり
愛宕梨	だいこん	デンドロビウム	みつまた	しいたけ	
いちご	はくさい	朝日米	乳用牛	まつたけ	西瓜
みかん	とうがん	徳町米	ジャージー牛	かき	
メロン	れんこん	二条大麦	肉用牛	のり	

ひと 輝くまち みさき

美咲町は岡山県の中央部やや北に位置し、南は久米南町や吉備中央町等、西は真庭市、東は美作市等、そして北は津山市に隣接しており、県北部や南部とはＪＲ津山線、国道 53 号、国道 374 号、国道 429 号などで結ばれています。

本町の総面積は 232.17 ㎢で、東部には岡山県 3 大河川の吉井川、西部には旭川が流れ、久米郡最高峰の二上山(689m)をはじめとした山間地となだらかな平坦地が続く地域です。

気象については、中国山地からくる内陸型気候と瀬戸内海からくる海洋型気候からなり、津山特別地域気象観測所における平均気温は 13.7℃、年間降水量 1,415.8mm です。

降霜期間は、11 月中旬から 4 月下旬で、比較的長くなっています。



美咲町相談窓口

- 美咲町役場 産業観光課 ㊟0868-66-1118
- 美咲町旭総合支所地域振興課 ㊟0867-27-3111
- 美咲町柵原総合支所地域振興課 ㊟0868-62-1114

☆美咲町HP <https://www.town.misaki.okayama.jp/>

新規就農窓口

- 岡山県農業経営・就農支援センター ㊟086-297-9010
- 岡山県農林水産部農産課 ㊟086-226-7420
- 岡山県担い手育成総合支援協議会 ㊟086-232-2461
- 美作広域農業普及指導センター ㊟0868-23-1524

☆就農に関する情報HP <http://www.okayama-ninaite.com/>